

平成24年度 第1回帯広市健康生活支援審議会健康づくり支援部会議事録

日 時：平成24年5月15日（火）
午後7時00分～7時30分
場 所：帯広市保健福祉センター
3階視聴覚室

●会議次第

1. 開会
2. 会議
 - (1) 平成23年度第5回帯広市健康づくり支援部会議事録（案）の確認
 - (2) けんこう帯広21最終評価について
 - (3) ワーキンググループ構成員について
 - (4) 次期健康増進計画策定スケジュールについて
 - (5) その他
3. 閉会

●出席委員：井出渉部会長、吉村典子委員、相馬昇委員、佐土根由委員、高橋きみ子専門委員、有岡秀専門委員、高橋セツ子専門委員、角谷巍啓専門委員

●議事録

○事務局

それでは、ただいまから、平成24年度第1回健康づくり支援部会を始めさせていただきます。
本日の委員の出席は、健康づくり支援部会、委員8名中、皆様のご出席をいただいておりますことから、本日の部会は成立しております。
それでは、これより議事進行につきましては、井出部会長にお願いいたします。

○部会長

それでは、会議に入らせていただきます。
まず、(1) 前回会議の議事録の確認ですが、この議事録は、この場でご確認いただいた後、公開される予定となっております。
議事録につきまして、ご質問やご意見があればお願いいたします。
[質疑応答なし]

○部会長

特になければ、議事録は了承されたものといたします。
次に、(2)、「けんこう帯広21」最終評価についてを議題といたします。
事務局、説明願います。

○事務局

「けんこう帯広21」最終評価につきまして、説明させていただきます。
資料1をご覧ください。

本日は、昨年度第4回の部会において、目指す指標のうち、直近値が平成22年度の事業実績値で示したものを、23年度の事業実績値に置き換えました。また、その結果、評価に変更があった箇所について報告いたします。

めざす指標と直近実績値のうち、色つき太線で囲われたところが、平成23年度の実績値に置き換えた箇所です。また、置き換えにより評価の変更があった箇所は、1 栄養・食生活の「9 カルシウムに富む食品の摂取量」の増加が、Cの変わらないからBの目標値に達していないが改善傾向にあるになりました。これは、牛乳・乳製品、緑黄色野菜のうち、牛乳・乳製品の摂取量が目標値に達していることから変更です。

次に、「10 脂肪エネルギー比率」の減少が、Dの悪化しているからCの変わらないになりました。これは、男性の値が悪化しているが、女性の値が目標値に達していることからの変更です。

次に、3歯の健康の「23 12歳児のう歯保有数」の減少がBの目標値に達していないが改善傾向から目標値に達しているため、Aの目標に達したに変更になりました。

次に、12がんの「49 がん検診受診率」の増加が、Dの悪化しているからBの目標値に達していないが改善傾向にあるに変更になりました。これは、胃がん、肺がんの値は、悪化しておりますが、大腸がんは目標値に達しており、子宮がん、乳がんは、目標値に達していないがベースライン値より改善されていることからの変更であります。

また、今回も暫定版としているのは、5の睡眠の幼児の睡眠と13のメタボリックシンドローム等の平成23年度の事業実績値が9月に確定しますことから評価ができないためです。

次回の健康づくり支援部会までにはメタボリックシンドローム等の評価困難としていたところの評価が完了し正式版をお示しできる予定です。

「けんこう帯広21」最終評価（暫定版）の説明は以上です。

○部会長

ただいまの事務局の説明につきまして、何かご意見、ご質問ございますか。

○委員

いくつかの改善傾向が発表されましたが、大変な数ですけれども非常に資料も見やすく、保健センターの役割、市民に対する日々の努力が形になって現れており、手ごたえも感じているのではないかと思います。

項目によっては非常に良くなっているんだなと感じた。

○部会長

他に何かございますか。

[質疑・応答なし]

○部会長

他になければ次は秋に最終報告があるということです。
次に（３）ワーキンググループ構成員について事務局から説明願います。

○事務局

ワーキンググループの構成員についてご説明申し上げます。
資料２をご覧ください。
構成員の一覧表が載っております。また、裏面には、参考資料としてワーキンググループ会議の設置要項をのせてございます。

健康づくりに関連する関係団体と十勝総合振興局、市の関係課、健康推進課で構成する構成員は、帯広市老人クラブ連合を除きメンバーが選出されました。一覧表のグループ、上の項目から妊娠・出産期から高齢期までは、関係団体職員又は関係者、十勝総合振興局職員、帯広市関係課職員、健康推進課職員で、全年代は、十勝総合振興局職員、帯広市関係職員、健康推進課職員で構成をしております。

帯広市老人クラブ連合会では、現在、推薦をお願いしており調整中との返事をいただいているところです。

ワーキンググループの構成員についての説明は以上でございます。

○部会長

これについて何かご意見・ご質問はないでしょうか。

○委員

よろしいでしょうか。構成の区分のことですが、高齢期までは関係団体が入っていて、全年齢には入っていないというのは何か考えがあるのか。

○事務局

年代別のところでは、その年代の方に関わっている関係の方ということで入っていただいておりますが、全年代についてはどちらかといいますと、関連する他の計画との整合性を持たせるために、健康づくりに関連する他の計画づくりに関わっている方で構成しているということです。

○部会長

ただ今の説明でよろしいでしょうか。

○委員

はい。わかりました。

○部会長

他にないでしょうか

[質疑・応答なし]

○部会長

よろしいでしょうか。では、次は（４）時期健康増進計画策定スケジュールについて事務局から説明をお願いいたします。

○事務局

時期健康増進計画策定スケジュールについてご説明申し上げます。
資料3をご覧ください。

第1回ワーキンググループ会議は、5月30日に開催する予定でございます。主な議題は、健康づくりに関する現状と課題について話し合われる予定であります。また、7月下旬に第2回、9月下旬に第3回の開催を予定し意見の取りまとめを行うところであります。

その後、ワーキンググループのほか、医師会や栄養士会など関係団体との意見交換会を行い、意見を反映させました計画素案を作成し、10月の第2回の健康づくり部会において審議をお願いするところであります。

また、12月の第3回の部会で計画原案の審議をいただき、来年の1月中旬以降にパブリックコメントを行い、2月には、第4回の健康づくり部会で計画案について、審議をお願いし年度内に策定する予定でございます。

また、部会で審議されたものについては、逐次、帯広市議会厚生委員会に報告していくものいたします。

説明は以上でございます。

○部会長

今の説明について何かご意見・ご質問はないでしょうか。

○委員

国の動向等について何情報はないか。

○事務局

国の動向としましては、素案が4月13日に出されています。

○委員

5月くらいに国の厚生審議会のから情報が出されると速報がでていたが。

○事務局

4月19日の素案の中で基本的な方向性ですとか、それぞれの目標設定が細かく示されて数値目標も54項目にわたって示されたところです。

○ 委員

わかりました。それを、参考に出来るわけですね。

○ 部会長

他に何かご意見・ご質問はありませんか。なければ、質疑を終了とさせていただきます。

では、本日の議題以外に何かご意見・ご質問があれば受けたいと思います。何かないでしょうか。

○ 委員

(特になし)

○ 部会長

特になければ、事務局から何かありますか。

○ 事務局

それでは2点ご報告がございますが、その前にただいま健康帯広21地域計画作り向けにご審議いただきましたスケジュールですとか、あるいはワーキンググループでの取り組みですとかは、来週帯広市議会厚生委員会が開催されますので、そちらへご報告させていただきますして厚生委員の皆様にご理解いただきながら今後1年間取り組みを進めさせていただきたいと思います。

さて、話題提供ということになると思いますが、1つは、平成23年度の健康づくり支援部会でも話題になっていたかと思いますが、こころの健康づくりの中の自殺対策、帯広・十勝を問わず、全国的な話題であります。また、帯広市議会でも多くの議論をいただき、また、皆様方の議論もいただいた中で、平成24年度の予算の中でも予算の1つの目玉として、こころの体温計というものを提供するとご説明させていただいていたところですが、このほど準備が整いましたので、6月1日インターネットですとか、パソコンですとか、あるいは携帯電話からアクセスをして、自分のこころの状態を確認していただける運用を開始してまいります。

皆様方の手元にあるカラーの両面のチラシは市の広報紙などを通じてすべての帯広市内の皆様にご覧いただけるようにしていきたいと思っております。

それと、数が限られていまして皆様方にはお渡していませんが、似たようなものでQRコードを載せたカードを作っております。高校生などの若い世代に紹介して一人で困らないように、あるいは自分で自分のこころの状態を確かめられるような取り組みを始めていきます。

また、広報紙だけではなく、報道機関等にもご協力いただいて多くの皆様に情報が届くように努力していきたいと思っております。引きつづきご協力・ご指導お願いしたいと思っております。

続きましてもう1点は、ポリオワクチンの接種方法についてでございます。

現在、帯広市においては、生ポリオワクチンを集団接種しておりますが、国が先月の27日に不活化ワクチンを承認いたしまして、導入の方向にむけて作業が進められているところでございます。

これは先月4月19日の薬事審議会の部会で協議されたものに基づいて27日に承認されていますが、4月23日には円滑な導入に関する検討会というもの、厚生労働省で開催されまして、9月1日から、不活化単独ワクチンで予防接種を開始するという方針が示されています。

帯広市におきましては、9月1日から、不活化ワクチンを接種できるよう新たな体制の構築にむけ

て取り組んでいるところです。

これまでは、この保健福祉センターあるいは、コミュニティセンターなどで保護者の方にお子さんを連れてきていただいていた。あらかじめ定められた日にちに来ていただく集団接種でしたが、これからは、現在、医師会の皆様にご相談申し上げている最中ですが、予防接種にご協力いただいている医療機関を訪ねていただいて個別接種を受けていただくこととなります。

また、年齢などの都合で8月末までに2回生ポリオワクチンを接種しているかたは不活化ワクチンを受ける必要はありませんが、1回しか受けていない方については、3回不活化ワクチンの接種が必要であるなどの制度の変更がありますので、予算の確保をいたしまして、十分な制度設計を行い、対象者の方には、不安のない形で新しい不活化ワクチンの接種に移行できるよう万全を期していきたいと思っております。

また、11月を目標に今の3種混合ワクチンにポリオの不活化ワクチンを合わせました4種混合とすることを厚生労働省は示していますので、これらにつきましても情報収集に努めまして、しっかりと対応していきたいと考えています。皆様方の周りにも、不活化を期待する声がある一方で、どういふ様になっていくのかという事の情報がないと不安に思っている方がいらっしゃると思いますが、システムに万全を期して皆様方にご協力をいただきながら、円滑な施行に勤めてまいりたいと考えています。私からは、以上2点でございます。

○ 部会長

今日の新聞にも出ていましたが、9月の不活化ワクチン導入まで接種を控えている方が多いようです。

今、帯広の医療機関で不活化ポリオワクチンを自費で接種できる場所はありますか。

○ 事務局

帯広市ではないです。

○ 部会長

受けている人はいますか。

○ 事務局

神奈川県などは県独自で接種できるようにしておりましたが、神奈川県も3月いっぱい受付けを締め切っているようです。

○ 事務局

次回の健康づくり支援部会の日程であります。日程等につきましては、井出部会長と調整のうえ、委員の皆様にご案内させていただきますので、よろしくお願いいたします。

○ 部会長

以上で予定されている議事は終了いたしました。本日はこれで閉会といたします。

お疲れ様でした。